

がん検診事業の評価に関する委員会	
平成19年6月26日	資料8

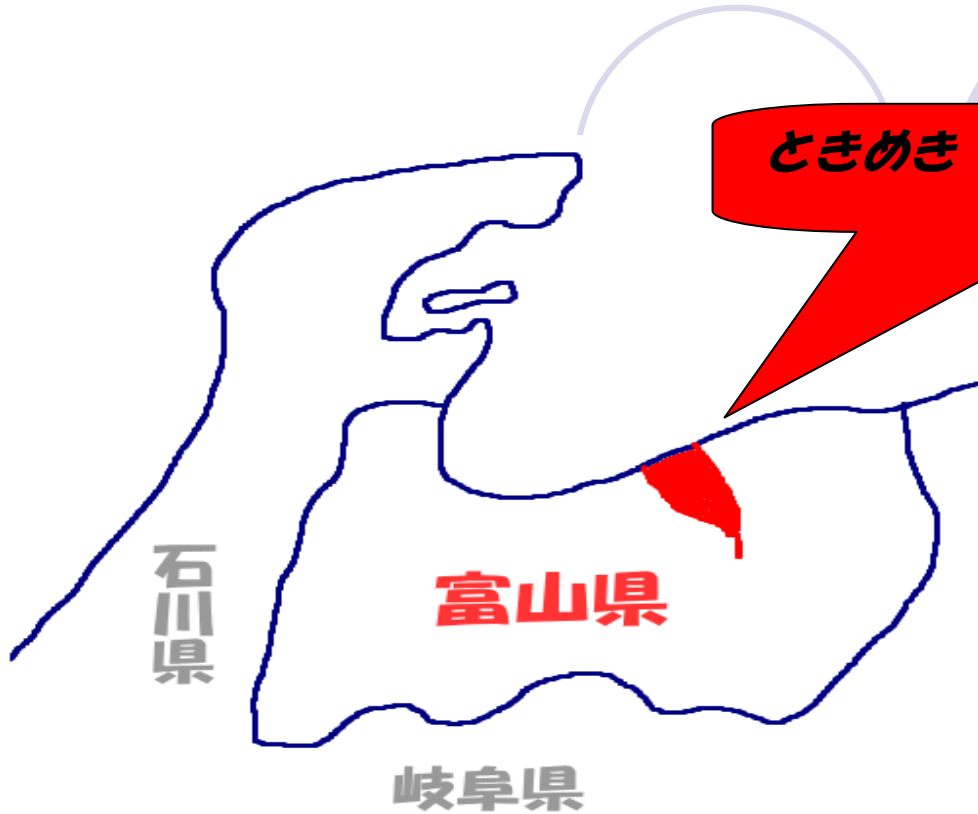
資料8：市町村の立場から（石原委員提出資料）

がん検診事業の評価に関する委員会



富山県滑川市
保健師 石原 和子

滑川市



ときめき かがやき
ひかりの街 なめりかわ

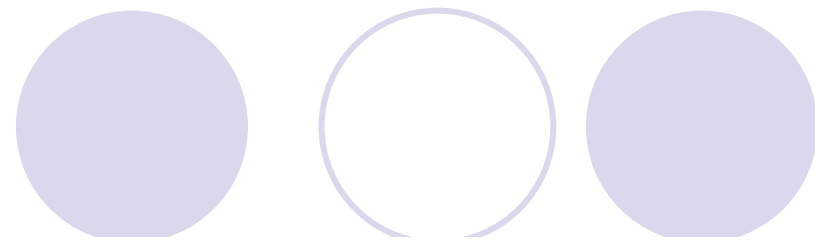


ようこそなめりかわへ

滑川市民健康センター

石原 和子

滑川市の概況



● 位置

富山県東部

● 地区

9地区

● 総人口

34, 107人

● 65歳以上人口

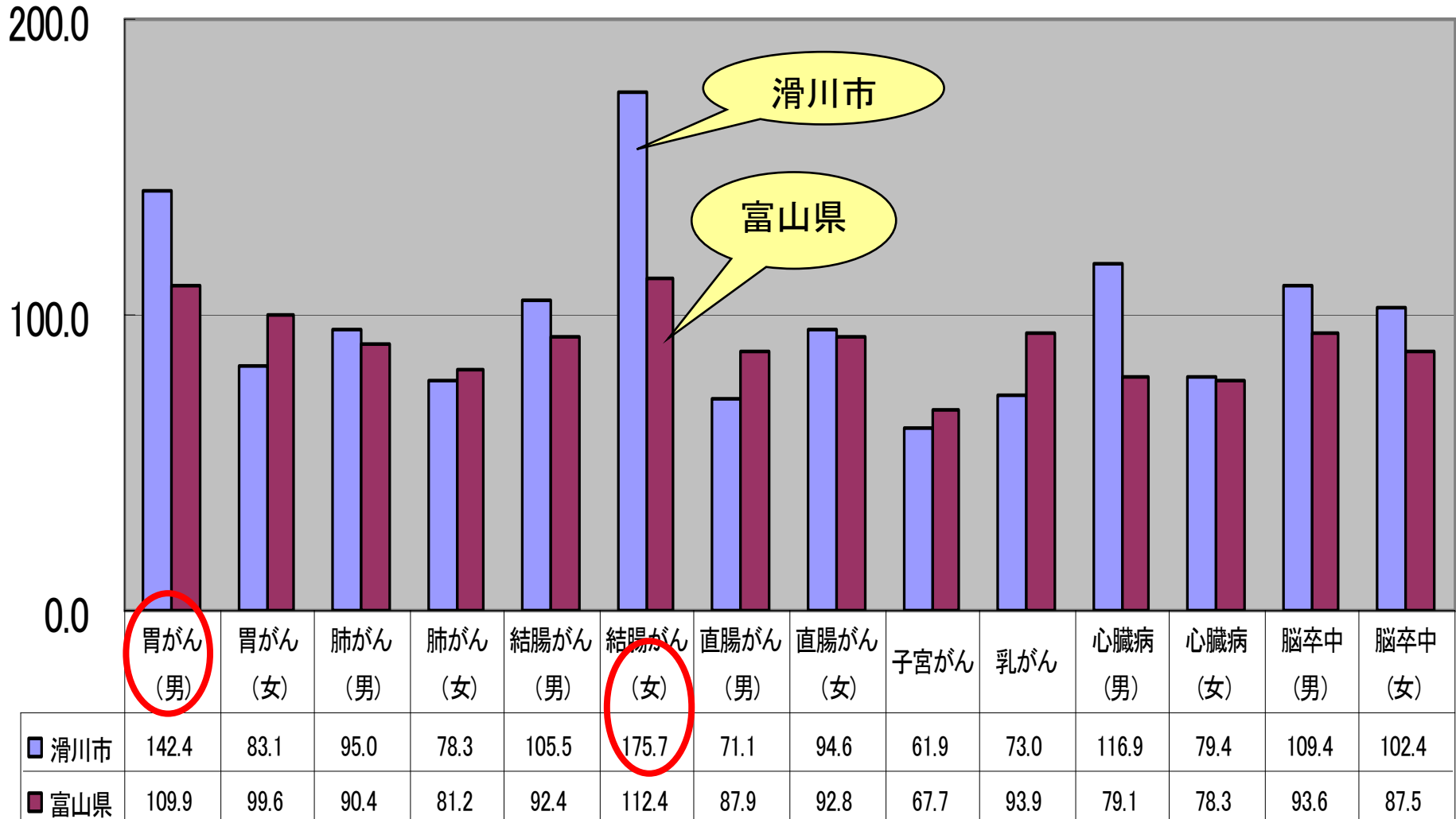
7, 768人

● 高齢指数

22. 8

標準化死亡(SMR)

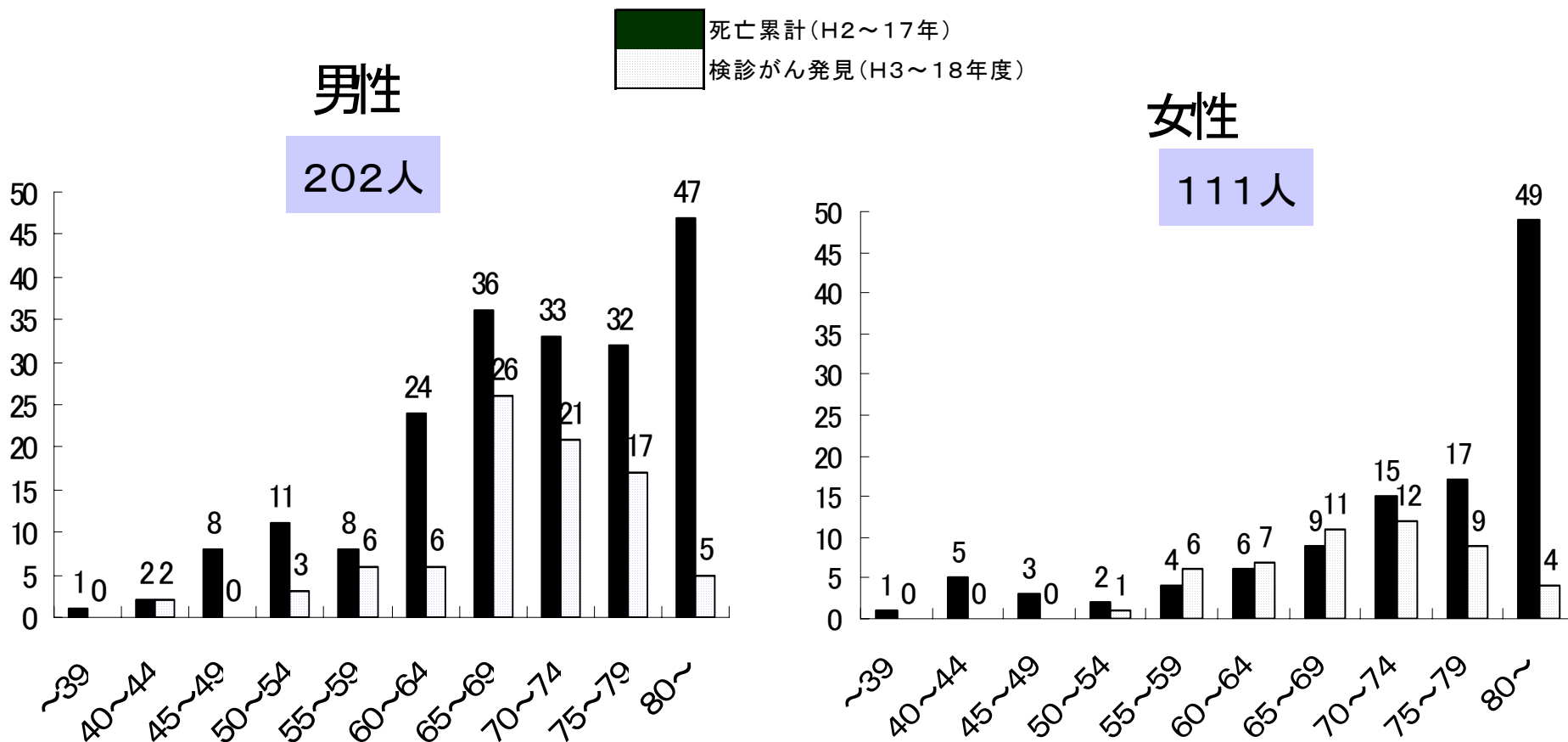
滑川市平成12～16年の5年間平均



滑川市 健康診査での胃がん発見

・胃がん死亡数

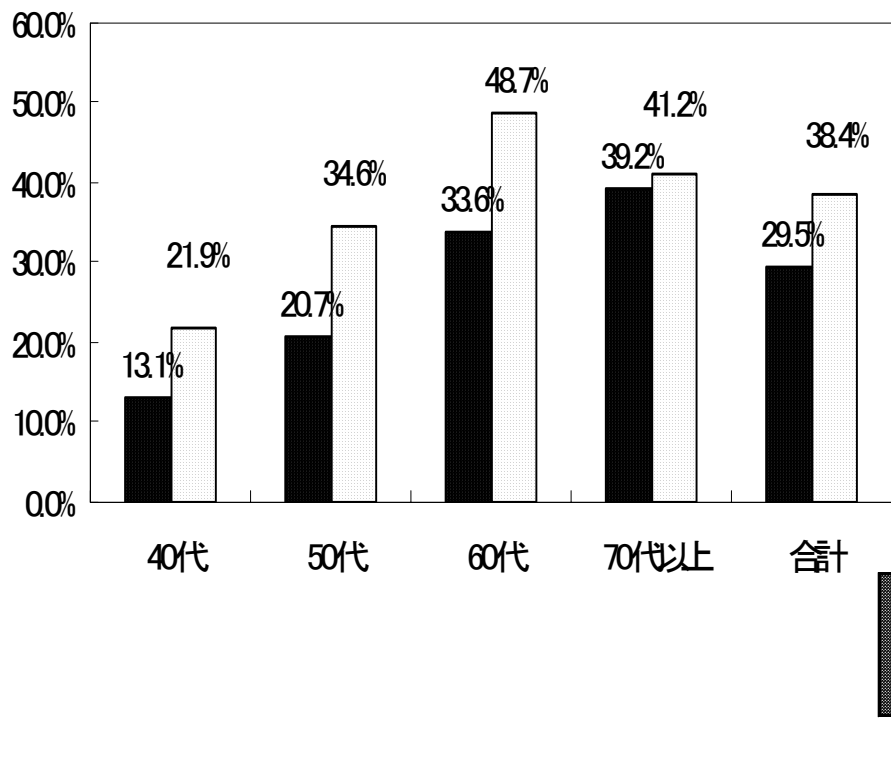
16年間累計



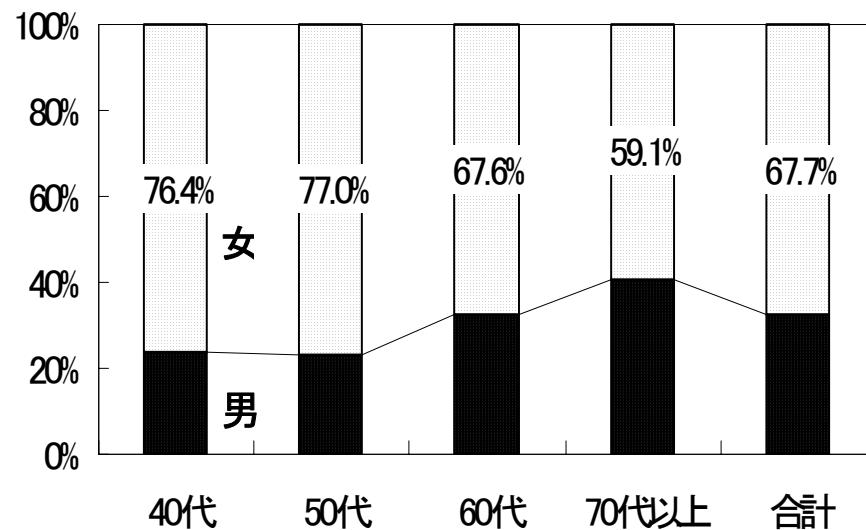
滑川市の胃がん検診 性別・年代別受診状況

(H12～16年度平均)

年代別性別受診率



受診数から見た年代別性別割合



がん検診の現状H18年度 (滑川市)

部位	検診方法		委託先	対象
胃	集団	バリウム	富山県健康増進センター	40歳以上 1年に1回
	医療	バリウム	滑川市医師会 (8機関)	
		カメラ	滑川市医師会 (7機関)	
肺	集団	間接撮影、喀痰	富山県健康増進センター	
		ヘリカルCT	富山県健康増進センター	
	医療	直接撮影、喀痰	滑川市医師会 (11機関)	
大腸	集団	2日間便潜血	富山県健康増進センター	40歳以上 1年に1回
	医療	2日間便潜血	滑川市医師会 (13機関)	
子宮	集団	細胞診	富山県健康増進センター	20歳以上 2年に1回
	医療	細胞診 (頸・体)	滑川市医師会 (2機関)	
乳房	集団	マンモグラフィー	富山県健康増進センター	40歳以上 2年に1回
	医療	マンモグラフィー	滑川市医師会 (1機関)	

その2

部位	検診方法		対象者	受診人数	受診人数 (内訳)	がん発見	がん 発見率	受診率 (%)	要精 検者	要精検率	精検 受診者	精検受診
胃	集団	バリウム	8,980	3,298	759	1	0.13	36.7	67	8.83	65	97.0
	医療	バリウム			1,392	3	0.21		92	6.61	87	94.6
		カメラ			1,147	10	0.87		131	11.42	131	100.0
肺	集団	間接撮影、喀痰	7,512	4,635	1,223	0	—	61.7	36	2.94	35	97.2
		ヘリカルCT			97	1	0.10		3	3.09	3	100.0
	医療	直接撮影、喀痰			3,315	4	0.12		128	3.86	121	94.5
大腸	集団	2日間便潜血	9,063	3,118	608	1	0.16	34.4	41	6.74	31	75.6
	医療				2,510	1	0.04		142	5.66	128	90.1
子宮	集団	細胞診	4,447	1,174	489	0	—	26.4	1	0.20	1	100.0
	医療	細胞診（頸・体）			685	0	—		3	0.44	3	100.0
乳房	集団	マンモグラフィー	3,812	1,174	546	3	0.55	30.8	37	6.78	35	94.6
	医療				628	0	—		12	1.91	12	100.0

受診体制

- 対象者通知
- 4月末に個人受診表郵送配布
- 未受診者郵送配布 ・ 前年度子宮・乳房未受診者 など

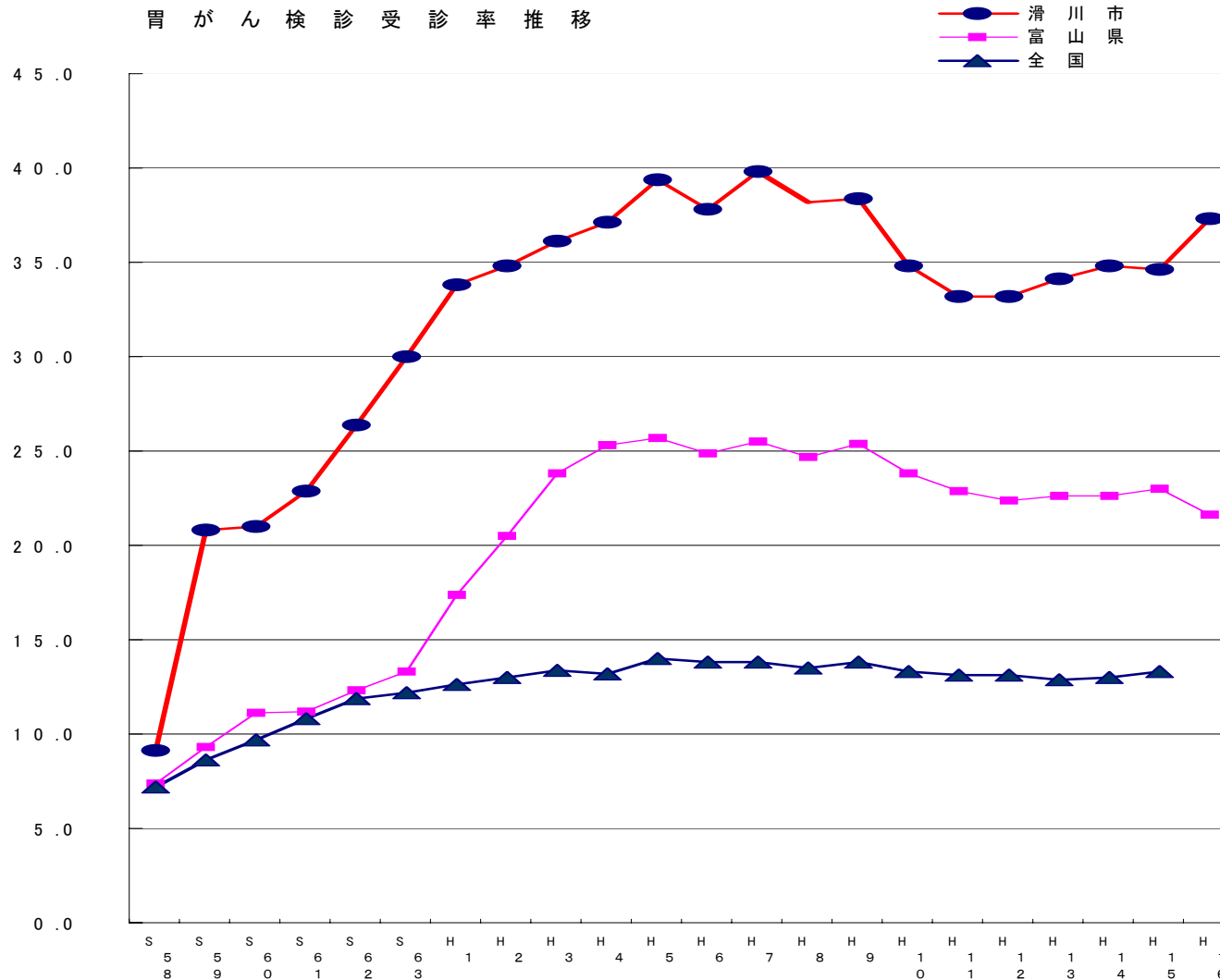
- 1 集団
- (会場) ・ 各地区公民館 ・ 市民会館ホール(未受診者対象)
- (項目) 同日実施
- ・ AM7:30～ 基本健康診査
- がん(胃・大腸・肺)の4項目
- ・ PM1:00～ がん(子宮・乳房)の2項目

- 2 医療
- (会場) ・ 各医療機関 (項目) ・ 各自の都合にあわせ実施

胃がん検診受診率の推移

(滑川市・富山県・全国 昭和50年度～平成16年度)

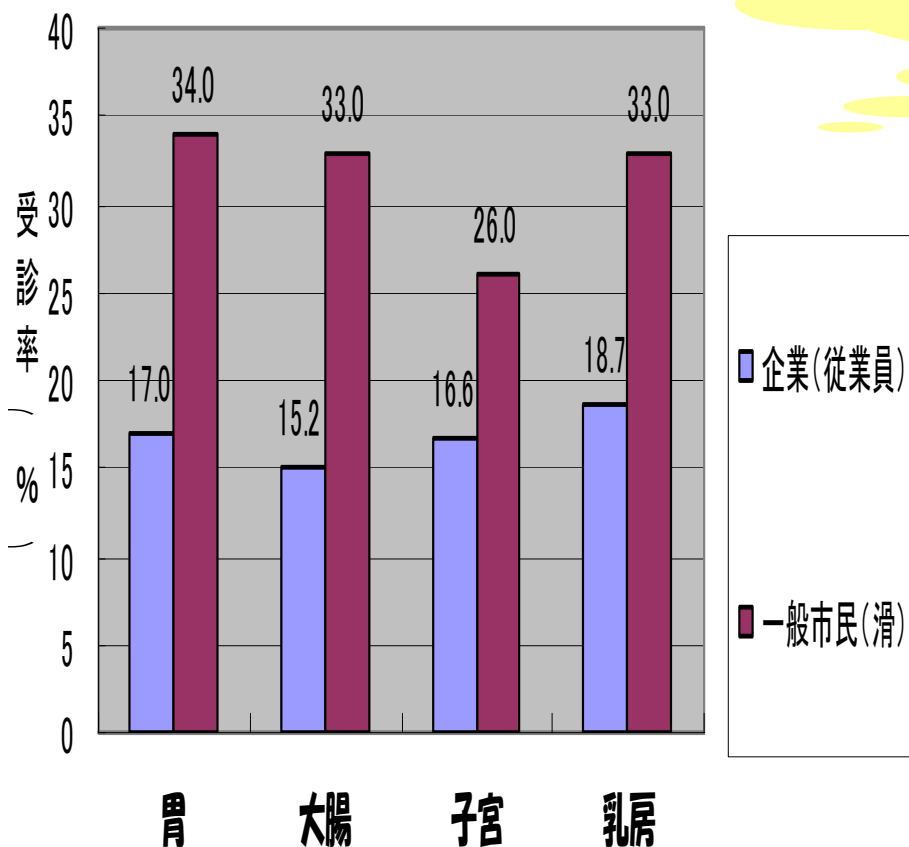
胃がん検診受診率推移



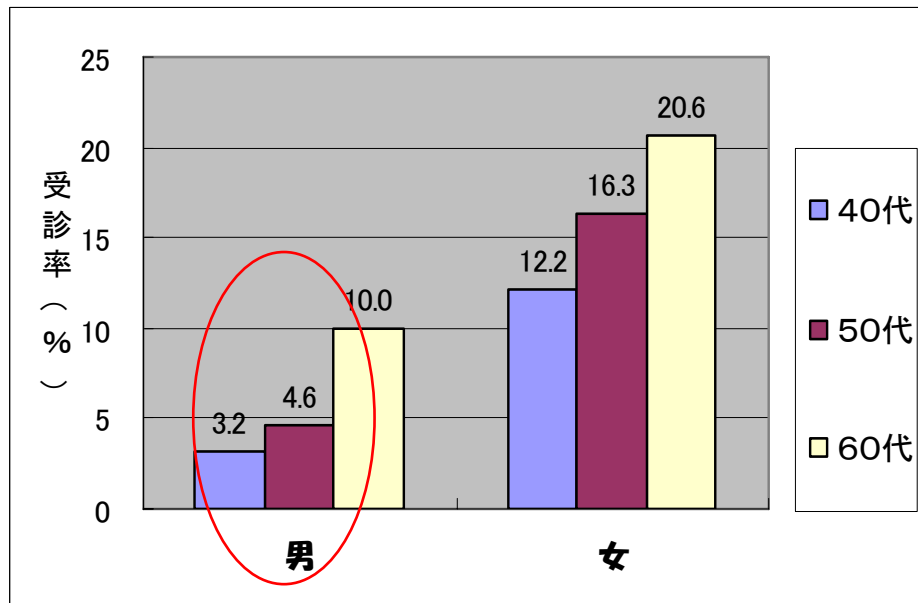
アンケート結果・働きざかりのがん検診受診状況

(滑川市ヘルスプラン21より 概15年度)

働き盛りの方は、住民健診受診率の半数
n=3007



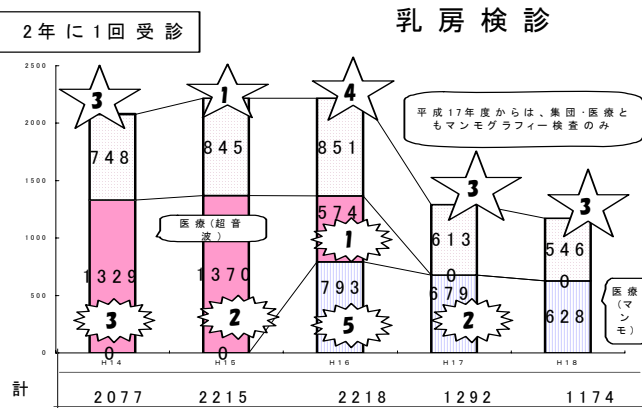
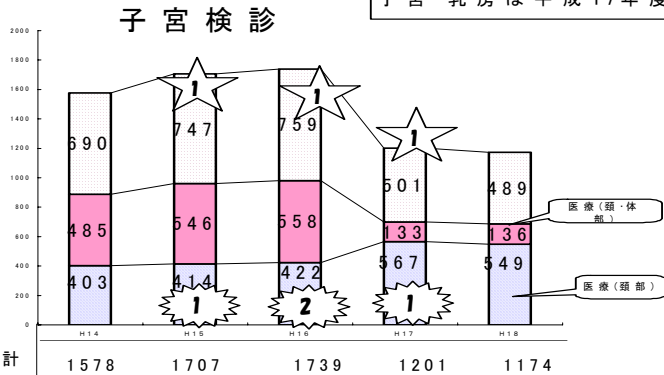
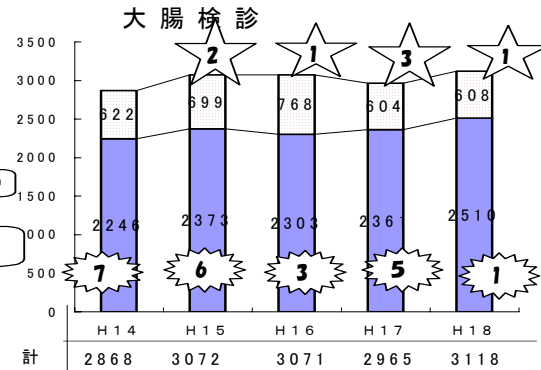
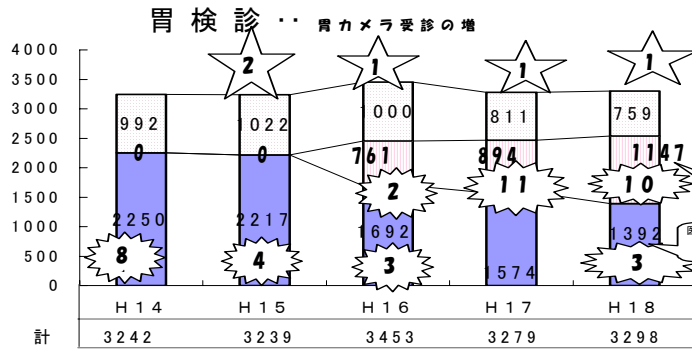
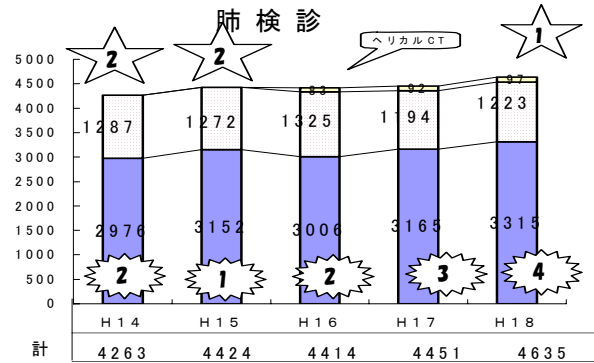
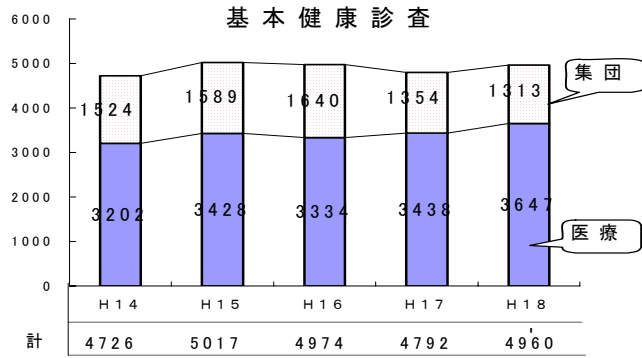
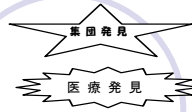
企業(従業員)と一般市民(滑川市)との
部位別がん検診受診率



企業(従業員)の胃がん検診
性別・年代別の受診状況

健康診査受診数の推移（集団・医療）とがん発見数

@ 医療機関受診の増加傾向
(平成18年度は平成19年3月末)



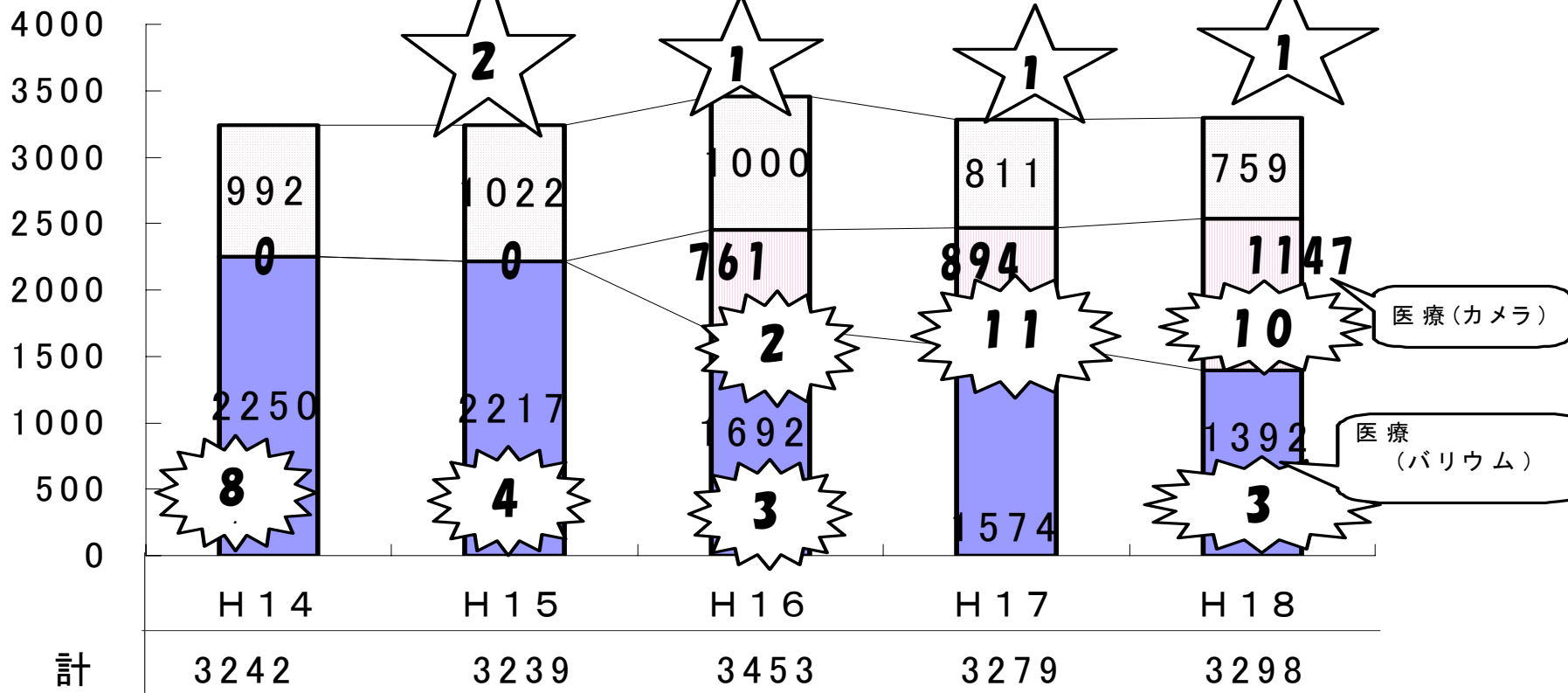
滑川市の胃がん検診受診状況推移

(H14～18年度)

集団がん発見数

医療がん発見数

胃検診・・・胃カメラ受診の増



滑

滑川市の胃検査方法別受診割合の推移

(カメラ・バリウム) ・胃カメラ検診受診者数が増えている

■ 胃カメラ

■ 胃バリウム

平成18年度

45.8

54.2

平成17年度

36.2

63.8

平成16年度

31.0

69.0

0%

20%

40%

60%

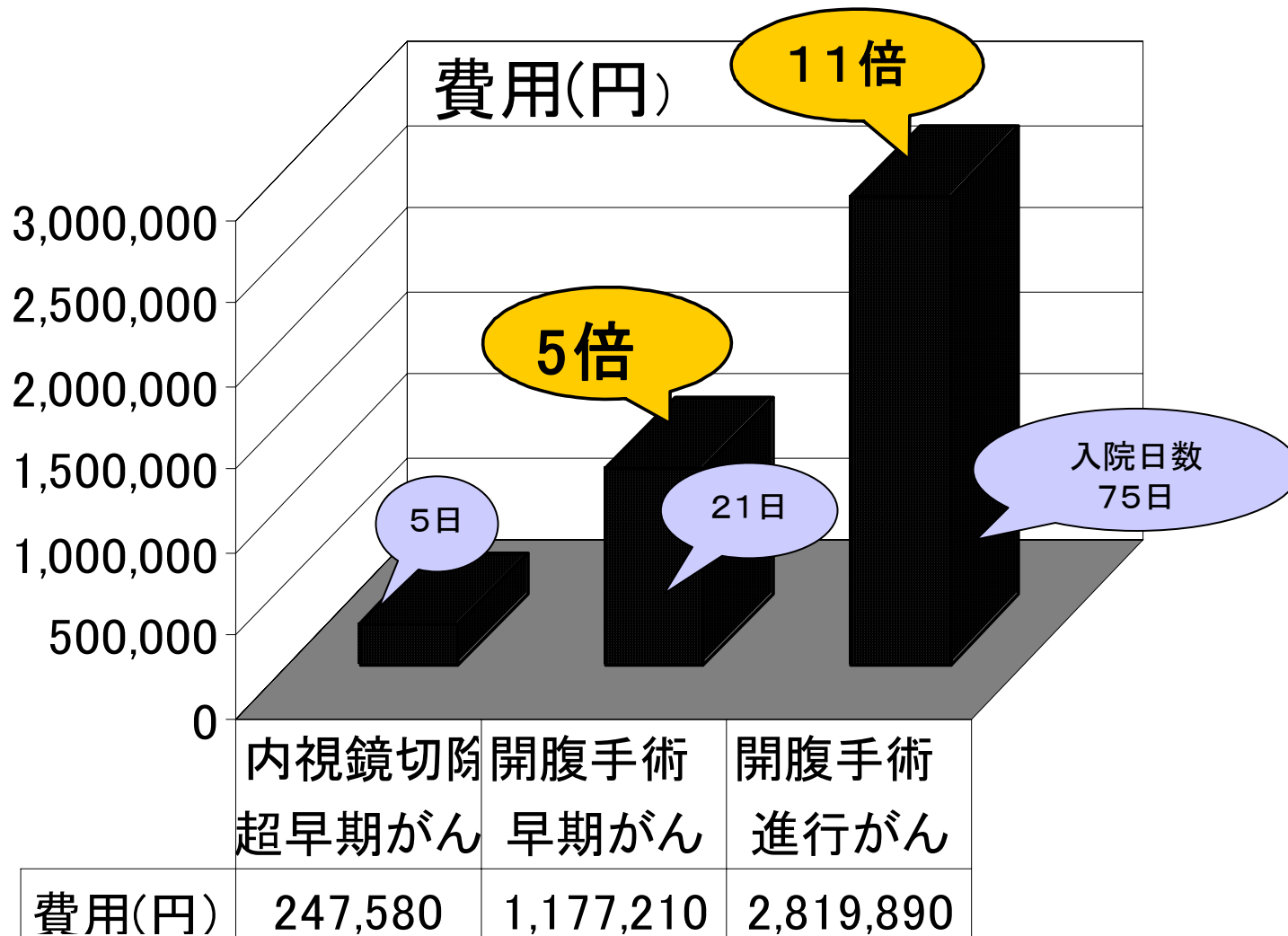
80%

100%

住民のニーズに応じた検査方法

治療から見た医療費の状況

(滑川市H18年度実績)



全国

(資料)

厚生労働省「人口動態統計」

(全国) 平成16年

全国年代別・部位別がん死亡割合

男

	食道	胃	結腸	直腸	肝臓	膵臓	肺	白血病	その他
40代	44	172	72	65	123	7.7	167	48	232
50代	7.1	167	66	63	148	7.7	187	26	195
60代	7.1	17.1	68	53	151	69	200	20	197
70代	44	165	65	40	130	59	253	18	226
80代以上	29	17.9	7.7	33	7.2	52	244	1.7	297

女

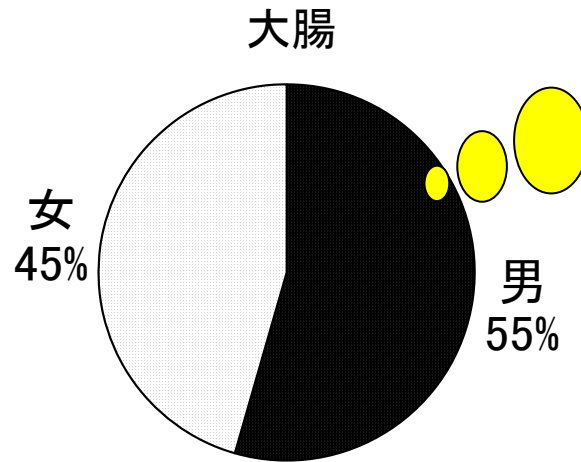
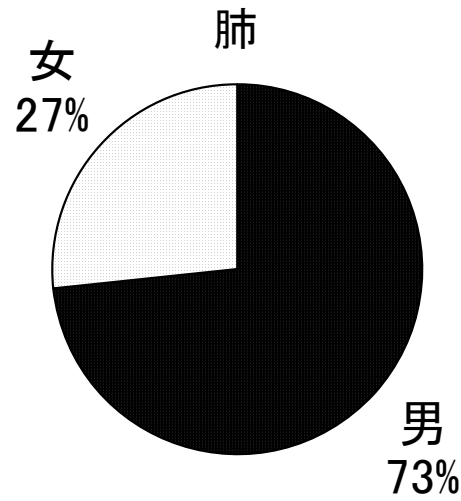
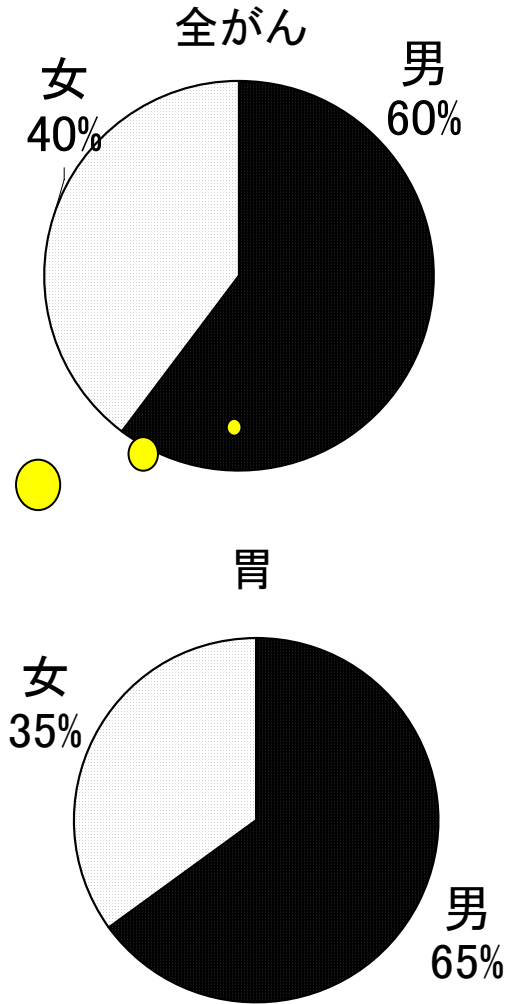
	食道	胃	結腸	直腸	肝臓	膵臓	肺	乳	子宮	白血病	その他
40代	08	140	7.1	41	20	33	7.1	27.5	95	26	220
50代	1.5	124	82	44	39	63	97	21.8	7.7	25	21.6
60代	1.8	120	94	48	92	82	11.9	11.7	49	25	236
70代	1.2	127	101	36	130	93	134	51	37	22	257
80代以上	1.4	160	120	38	7.7	84	140	30	29	1.8	290

全国

性別・がん死亡割合 (全国実数)

(平成16年厚生労働省「人口動態統計」 男;193096人 女;127262人)

男性が多い



女性1位の大腸がん。
しかし実数からみると男性が多い

(資料)

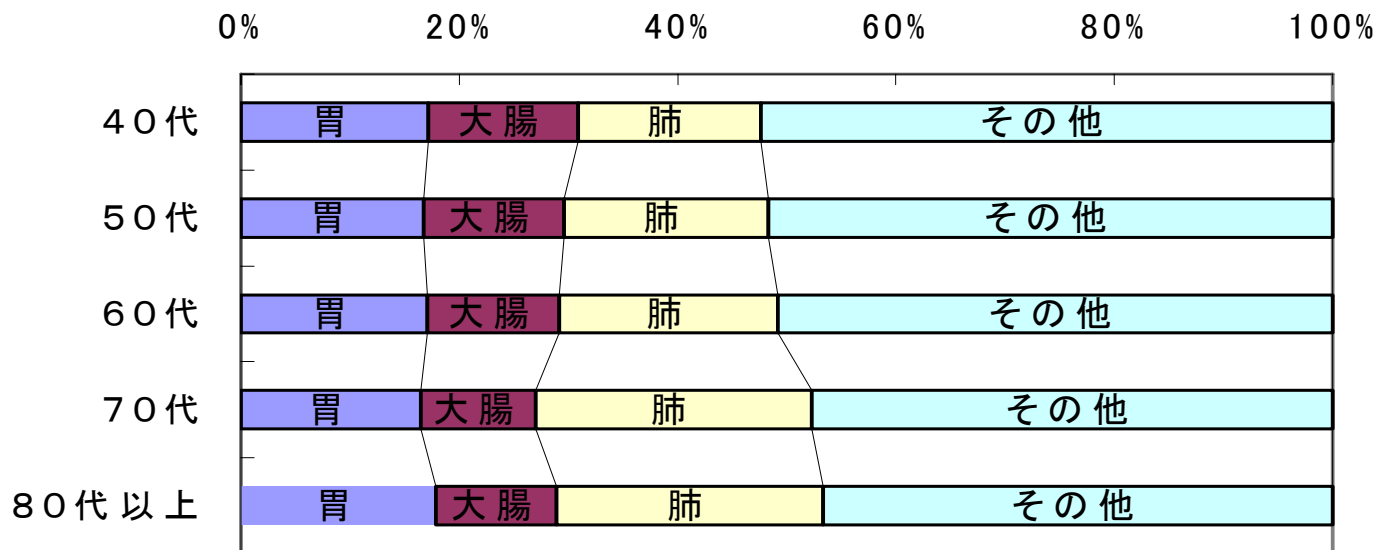
厚生労働省「人口動態統計」

全国

全国 16年 年代別・部位別がん死亡割合

男 (検診のある部位を主とする死亡割合)

	胃	大腸	肺	その他
40代	17.2	13.7	16.7	52.4
50代	16.7	12.9	18.7	51.7
60代	17.1	12.1	20.0	50.8
70代	16.5	10.5	25.3	47.7
80代以上	17.9	11.0	24.4	46.7



どの年代も男性は、肺・胃がん死亡

- ・高齢者ほど肺は増える。
- ・胃はどの年代もそんなに変わらない。

(資料)

厚生労働省「人口動態統計」

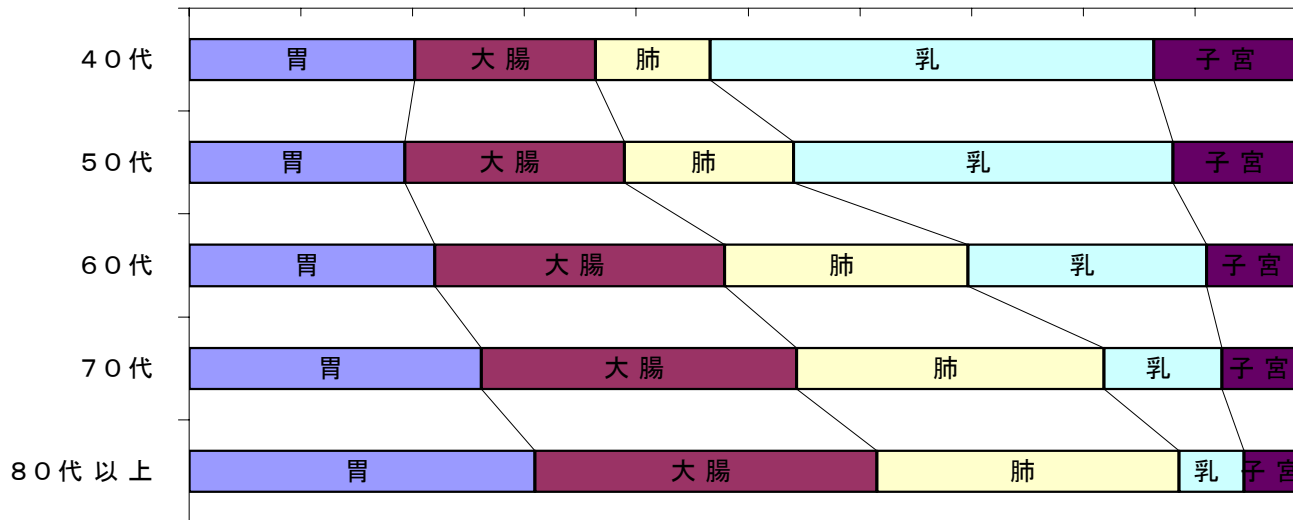
全国

全国概16年 年代別・部位別がん死亡割合 (検診のある部位を主とする死亡割合)

女

	胃	大腸	肺	乳	子宮	その他
40代	14.0	11.2	7.1	27.5	9.5	30.7
50代	12.4	12.6	9.7	21.8	7.7	35.8
60代	12.0	14.2	11.9	11.7	4.9	45.3
70代	12.7	13.7	13.4	5.1	3.7	51.4
80代以上	16.0	15.8	14.0	3.0	2.9	48.3

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



女性

**40代は乳がん
若い年代は乳がん
特に注意**

**高齢になるほど
大腸・胃・肺**

1 受診勧奨方法を部位から年代・性別を軸に！

- 現行 （対象をひとくくり）
部位別が主流軸になり、対象を大きく捉えている。
子宮 …20歳以上
胃・大腸・肺・乳房 …40歳以上

り患・死亡を考慮したメリハリのある対象者への受診啓蒙普及活動

- ① 性別・年代
- ② 働きざかり年代

対象者へ一律ではなく 年代・性別に応じたメリハリのある受診勧奨の普及

意見

(1) ライフステージに応じた受診普及

20歳になったら・・・2年1回は子宮検診

40歳になったら・・・胃・大腸・肺は1年に1回

子宮・乳房は2年に1回

働きざかり対象への受診勧奨

(2) 性別と年代

① 男性に多いがん死亡

男性:女性のがん死亡=6:4

どの年代も男性死亡が多い

② 女性・年代により積極的に受けるがん検診項目

・20代30代は子宮がん！

・40代50代はまず乳がん！

・年齢と共に胃・大腸・肺検診を！

がん検診精度を高めるための 検証指数について (その1)

- **がん死亡を減らす事ができる**とされる各指数を明確化
 - ① 受診率
 - ② 要精検率
 - ③ 精検受診率
 - ③ 陽性反応適中度
 - ④ がん発見率 など

がん検診評価の 検証指数について（その2）

他(多)方面からの検証

- ① 死亡
- ② 医療費
- ③ 若年、働きざかり年代

新健康フロンティア戦略の指数 がん克服力 (2007～2016)

- 1 がんの年齢調整死亡率(人口10万対)
 - 男 197.7 (H12年度 214.0)
 - 女 97.3 (H12年度 103.5)
- 2 乳がん検診受診率
 - 11.3% (H16年度 4.6%)

対象者の捉え方が明記されていない

- がん検診・・・対象？

住民・・・「健康増進法」

労働者・・・「労働安全衛生法」の義務付け？

「がん対策基本法」との関連？

「高齢者の医療の確保に関する法律」との関係

特定健康診査とがん検診が、一体化して健康診査を受けられる体制づくりを強く望む。

(働きざかり年代の労働者のがん検診受診向上)

検診実施機関の精度管理

- 検診実施機関の事業評価や監査など直接指導は県・国で行なう体制づくり。

